

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	経済学部	身分	教授
氏名	鳥居 伸好		
NAME			

1. 研究課題

(和文) 地域社会（コミュニティ）における地域通貨の役割と展望

(英文)

2. 研究期間

2年間（ 2017～2018 年度）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

地域社会における地域通貨の役割を検討するにあたって、本年度は、マルクス『資本論』における信用および信用制度の研究を中心に、現代資本主義における経済の金融化の考察を行った。それは、地域社会における地域通貨の役割を検討するうえで、貨幣の基礎理論とその理論展開、現代資本主義における経済の金融化の動きが、地域通貨の検討にとって重要な意味を持ちうると考えたからであり、前年度に行った地域通貨・仮想通貨に関する文献収集、EUの中心国であるドイツの金融政策に関する研究との接合を踏まえたうえで、貨幣理論および信用論と地域通貨・仮想通貨とを地域社会の枠組みでまとめて行く研究のための準備作業としての基礎理論研究が、本年度の主な研究活動となった。

(英文)